

2018年4月18日
凸版印刷株式会社**凸版印刷、日本初 指紋認証対応カード**

クレジットカード本体に搭載した指紋センサーで決済時に PIN コードの入力が不要な日本初の指紋認証機能付き非接触 IC カード「F-CODE」の販売を開始、JCB で初採用

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、IDEMIA(アイデミア、本社:フランス、CEO:ディディエ・ラムシュ)と、2016年より新世代決済カード事業で協業しています。

このたび、IDEMIAが開発した、クレジットカード本体に搭載した指紋認証機能で決済時に PIN コードの入力が不要となる IC カード「F-CODE™(エフコード)」の日本国内での製造・販売において協業し、2018年4月中旬より本格的に開始します。

なお本製品は販売開始に先駆け、2018年4月から株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役兼執行役員社長:浜川一郎、以下 JCB)が「JCB Biometrics Card」としておもに社員向けに発行し、実際の店舗で決済を行い利便性や実用性を検証する実証実験に採用されています。



「F-CODE」が実証実験用カードとして採用された「JCB Biometrics Card」

© JCB Co., Ltd.

■ 「F-CODE」の特長

「F-CODE」は、IC カードの券面に指紋センサーを搭載し、個人認証をカード上で行える高セキュリティ IC カードです。

・指紋認証で取引が可能

カード表面に搭載されている指紋センサーを用いることで、クレジットカードの店頭利用時に必要な PIN コード入力を指紋認証に置き換えることができるため、決済処理のスピードアップが図れます。また、PIN 番号の管理が不要なため、セキュリティ性の高い安全な決済環境を実現できます。

・指紋データのサーバ保管が不要

指紋データはカード内のみ登録・保存されており、利用時の指紋認証もカード内で完結するため、指紋データをサーバなどに保存する必要がありません。そのため、指紋データの漏えいなどのリスクがありません。

・店頭で新たなシステム導入が不要

IC カードに搭載された指紋センサーで個人を認証し決済を行うため、店頭で新たな認証端末を導入する必要がありません。

■ 凸版印刷と IDEMIA における次世代決済カード事業での協業について

世界各国はもとより、日本国内においてもオンラインセキュリティへの脅威は増す一方であり、その対策が必要となっています。また、国際的なスポーツイベントやインバウンド消費の活性化に向け、安全なキャッシュレス取引環境の整備が必須となっています。

凸版印刷は、金融分野や交通分野、公共分野などに対し、単機能カードはもちろん、多機能カードや多形状カードまで、数多くの採用実績を誇る国内を代表するカードベンダーです。また、IC チップの OS やアプリケーション開発、カード製造・発行までの技術を保有しており、トータルで対応できます。

凸版印刷は 2016 年 9 月から、IDEMIA の前身であるオベルチュール・テクノロジーズと次世代決済カード事業での協業を開始しており、今回「F-CODE」の日本での展開を実現させたことにより、セキュリティ性を大きく向上させたクレジットカードならびにその仕組みの提供が可能になりました。

■ 今後の目標

凸版印刷は、「F-CODE」を全国のクレジットカード会社に向けて拡販。導入サポートや発行機、保守サービスなどの機能を拡充し、2020 年度に約 10 億円の売上を目指します。

* 「F-CODE」は IDEMIA が商標登録出願中です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上